

図書館報

第六号

昭和三十三年五月十八日発行
発行所 福岡市西新町
福岡学院図書館

編集人 山下 和夫

図書館雑感

館長 星見 安吉

最近米国の篤志家 (H. H. ...) の寄付があつてスチブソン全集や明治前期財政経済史料集成全二十一巻やコリアの百科辞典を購入することになり、その他バンヤン全集や聖書英訳史料の入手も心がけている。

三十一年度の増加冊数は三、六一九冊で現在の総冊数は五万一千冊(神学館蔵書を除いて)になる。昨年

はボールドからの援助を期待していた金が来なかつたので甚だ支障を来し赤字のメイトルがあがつた。社会科学関係の圖書も専門家から見たらまだ不足の分も多いと思われるし、文学関係書も標準的な本が充実したとはまだいえないであろう。昨年、高垣寅次郎博士が当館を視察されて

社会科学方面の標準的なリストを中沢先生の手許に送られたといふので次第にこの方面も標準化されることを望んでいる。

文学方面ではシネクスピアの *Artem Fido*、*Chopin* 出版のミルトン全集などの大物なものが、又それらの最近の研究書もそなわつていたのでこれらの大物と取組むような研究者が出て来ても事欠かない筈である。

私が西南へ来た当時の図書館にはルーテル訳独乙語聖書がなかつた。ルーテル全集はいまだに備えるまでに至らないが、図書館の充実を誇つてゐる天理大学には、さすがにワイマール版の大冊ルーテル全集がそなわつてゐるのを私はもうやましく眺

めて来たことがある。

図書館の将来は次第に視聴覚図書館 (Audio-Visual Library) に切りかえられる時代が来ると思われれば、今日でもナイルやパレスタインのピピルスや羊皮紙の貴重な古文書が判読されるように、現在の形式の圖書も将来は重要な原資料ともなり得るし、相当な書庫が必要である。視聴覚図書館時代が来たとしても現在の書庫が不要と化すると考へるのは早計である。

それにしても当館にもほしいのは開架式を更に前進させて視聴覚閲覧室の設備である。その実現は幾世紀か後の夢であるかもしれないが、原子力が完全に平和に利用されるよりな進歩した時代が来れば現在のよりに開架式を誇つてゐる図書館でさえ時代遅れのしろものとなるかもしれない。しかしこんな設備上の進歩がどんなに実現しても、もう一つそれに加えて是非とも望ましい進歩が必要なのだ。それは閲覧者の進歩である。ギャングの絶無は言うまでもないが、一頁も切りぬきをするものがなく、マイクロフィルムを失敬するような者が出ないばかりでなく、卒業生が毎年すばらしい閲覧室を記

図書館ニエース

福岡県大学図書館協議会
昨年十一月一日、八幡大学において又、本年二月八日、福岡学芸大学において開かれた。

私立大学図書館協会
昨年十一月二日に昭和三十一年度秋期関西支部会が京都市、立命館大学の主催で開催された。

昨年十一月七日より一週間創立四十周年記念の一つとして波多野文庫の展示会を開く。

図書館という図書の整理には受入、分類、目録、装備等の分野があるがこのうち目録について少しく述べてみようと思う。

本学のようにすでに接架制を採用している図書館においてさえも、目録は図書利用の鍵となるものであり、閲覧者は目録を通して著者、或は書名の知られている特定の図書、

図書館が持つてゐるかどうかを検索することから来る。従つて目録は閲覧者の利用要求を満足させるに必要な条件や手段が取りこまれたものでなければならぬ。しかも図書館の存続するその長期的観点からすれば、目録の種類や組織も極めて普遍性のあるしかも客観性を持つたものでなければならぬ。例えば後述するように目録は一定の規則に従つて著者、書名、出版事項、大きさ、頁等をカ

図 書 館 案 内 講 座

その五

目録についての一考察

ード或は冊子に記載していくのであるが、その一枚のカードの記載方法にも、又出来上つたカードの排列方法にも、常に普遍性をもつて統一する規則と技術とが必要とせられるのである。

この目録方式を歴史的に考察してみると、我が国でもすでに奈良時代の「正倉院文書」の中にも天平時代の写経目録が現存し、図書館の存在したと否にかゝらずこの種の目録はかなり早くから作られていたことと思われる。もちろんそれらの目録は近代的意味における組織的な目録規則によつたものではなく、単なる羅列的目録であつたにしても、蔵書の保存管理のためにも又蔵書の閲覧のためにもその利用的価値を見いだすことができるのである。

更に図書そのものについて言えば図書は我々の人間生活における文化の運載者として、次代から次代へと我々の知識や経験を伝える役割を果しているのであるが、その図書に託される表現形式や方法は、その国の文化的な生活条件や或は慣習によつて異なつて来ている。故にこれらの図書を管理、利用するための目録規則も各国それぞれに異なつた発展を遂

げて来た。例えば英米系目録法、ドイツ系目録法、などがあり、又我が国始め東洋では古来古典を重視して来た關係上、標目に書名を重視した書名本記入の立場をとる目録法が多かつた。

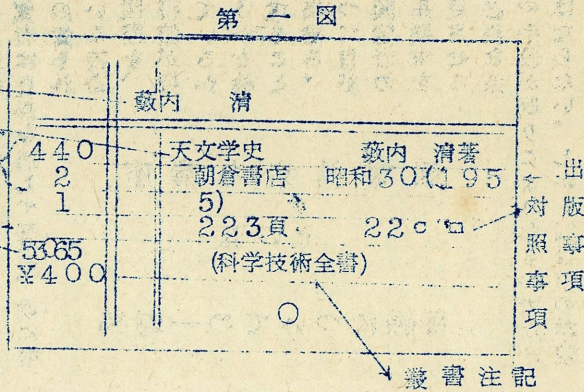
故に日本図書館協会においても最初は和漢書のみが目録規則で、洋書目録はアメリカ図書館協会の規則によつてゐるのが多かつたが、その後我が国図書館界も國際的な交流をもつようになり、又和洋書二元的機構の不合理を打開するためにもその一元化が計画され、昭和十七年に日本目録規則が定められ、更にこれを基礎として新しい目録規則が昭和二十七年に出来たのである。これにより欧米諸国の目録規則をも参考として著者名本記入を原則とし、これに書名、或は特殊標目を立てる規則ができたのである。この一元化こそは科学としての図書館学の学なる領域が共通化することを考える時、一つの意義あることだと思ふのである。

具体的問題について、目録の種類には著者名、書名、分類、詳書体、件名、の諸目録があげられる。こゝでは紙面の都合により本学図書館が採用してゐる日本目録

規則を基礎とした著者名、書名、分類の三目録についてどのように作成されているかを簡単に解説してみようと思う。

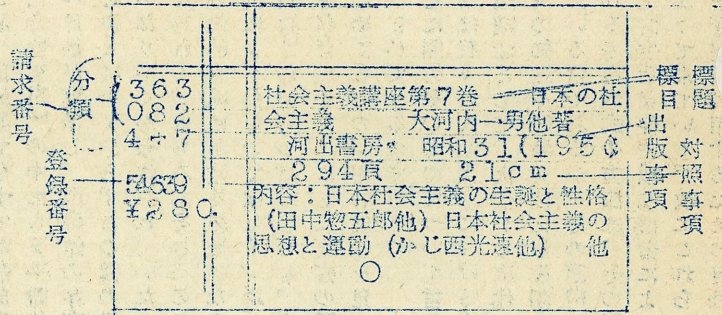
先づ利用者にとつて一番密接な關連を持つのは標目である。標目といふのは個々のカードの見出し語であつて目録を編成する場合これによつて排列の順位が決定される。目録規則ではカード記入は通常著者をもつて標目とするので、著者名目録では同一著者の著作が一個所に集中することとなる。この場合目録規則でいふ著者は普通にいふ著者の概念よりもやゝ範圍が広く編者や団体名もこれに含まれる。但し次のような場合には書名を標目とする。即ち叢書、講座類で一冊の中の内容がそれぞれ著者の異なる数篇から成立つてゐる場合、又辞書類で編者がなく執筆者多数の場合などには書名を標目とし著者名カード、書名カード双方の役割をはたす意味から標目の記載は次頁第二図のように第二横線よりとる。又共著者の場合には標目にとらなかつた二名までを副出し、更にカードを増刷して副出したそれらの著者を標目にとる。次に第二横線より始まる標目には書名がくる。更に次の出

版事項以下、対照事項、注記事項については左図を参考され、図書館備付のカード目録を御覧になつていただければよいかと思ふ。



次に著名カード目録は書名により検索するもので、以上の如くして作成された目録原紙の標目のみ覆い

第二図



かくして作られたものである。目録作成については言いたりぬ事が多いが、閲覧室に目録規則解説書が二、三備えてあるので御参考にされたい。

最後にカード目録の配列法についてであるが、現在本学図書館ではアルベット順でその中が更に特定の

字面によつて区別されているが、蔵書の増加に備え、かつ統一と基準とを持たせる必要から標目にローマナイズをほどこし、新しい配列方法に移行するための準備が着々と進められているのである。(文責伊藤)

卒業論文作成の

学生諸君に

この一年で学窓を去られる諸君には、すでに担当教授のもとでそれぞれのゼミナールに属し卒業論文作成のための自分の研究分野を定めて準備をすゝめていられることと思ふ。こゝでは諸君が選定された論文のテーマについて研究資料の一部を提供する図書館の立場から利用の仕方など少し述べてみよう。まず

卒業論文のテーマの選定には二つの方法がある。一つは自分が研究したいと思うテーマを先に定め、それに関連する文献を集める方法と、他方は図書館その他で興味をひかれた問題群について先に文献をさがし、参考文献資料の多い研究のしやすしいテーマを選ぶ方法である。

一般に前者をとる学生が多いようであるが、その選定されたテーマが良いテーマであつてもそのテーマについての文献が少なければ、論文作成に非常な困難を感じるものである。かゝる場合これまでしばしば指適されていのように本学図書館の図書不足はこのような学生諸君に気の毒である。故にかゝる参考文献資料の有益な一助として紹介したいのは図書館に集められている各大学の学術論集である。この学術論集はこれまで整理がつかなくつた関係上、あまり利用されなかつたが、最近ではこれら論集の題目内容まで記入したカード目録が次第に整備されてきているのでかなり利用してもらへるのではないかと思つてゐる。

この学術論集の持つてゐる一般的長所は、専門的問題の焦点をしぼつてかなり深くつきこんで研究してゐること、問題領域が多方面にわたること、その種類が相当多いこと、又論文の長さや形式が卒論と類似してゐること、等あるがしかしその中には論文著者の主観がかなり強くでゐるものがあり、又他の図書に比べて

閲覧係より

○閲覧後図書は必ず閲覧室の出入口の机の上に返して下さい。係員が巡回して排架します。各自が書架に戻されると非常に順序がみだれてしまいます。是非御協力下さい。

○昭和三十一年度の貸出図書冊数をかゝりて見ました。次第に図書は充実されて来ていますのに前年度に比べて幾分利用が減っているのは何故でせうか、殊に哲学、宗教、自然科学の部門の減少が目立ちます。これらの部門は割に新刊購入の少なかつたところですのでその故もあるかも知れません。一方写真その他、芸術娯楽関係の利用が増加しているのは、最近の流行を考え合せて理解できます。

又一年間の延入館者数を調べてみますと三万三千二百七十一人です。そうしてそのうち七七パーセントの人が図書を借出していることになりました。

○下の表は最近三年間における貸出図書の種類別冊数を十月(一九九一年十一月)をえらんで記載したものです。

貸出図書冊数比較

	総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	工学	産業	芸術	語学	文学	雑誌	計
29年 11月	45	195	79	866	37	8	173	77	57	104	50	2621
30年 10月	43	297	82	683	169	28	171	173	82	103	53	2836
31年 10月	22	222	111	587	85	32	133	197	87	108	106	2600

外国雑誌案内 (購入分)

- American Journal of Philology.
- American Literature, American Scholar,
- Anglia, mit Beihefte.
- College English with English Journal.
- Columbia Univ. Press American Speech,
- Encounter, English Literary History.
- Essays in Criticism.
- KenyOn Review, Listener.
- Modern Language Forum.
- Modern Language Notes.
- New York Times Book Review.
- Perspective U.S.A.
- Philological Quarterly, Poetry.
- Sewanee Review.
- Review of English Studies.
- Section of Literature and Language.
- Yale Literary Magazine.
- Library Quarterly
- College and Research Librarians
- American Journal of Psychology.

- Journal of Experimental Psychology
- Journal of Geology.
- The American Mineralogist.
- Accountancy.
- Accounting Review.
- American Journal of Economics and Sociology.
- Harvard Business Review.
- The Journal of Accountancy.
- L'Orga La Comptabilité.

国内雑誌新購入分案内

- 婦人公論
- 総合
- 近代経営
- 海法会誌

以上は新しく購入を始めましたので御利用下さい。

(前頁下段より)
内容が難しいのでかなり基礎知識が前提とせられるのではないかと思われ。これらの論集は現在まだ整理中であるが特に利用されたい方は係まで申し出られたい。